

風しん(三日ばしか)にご注意ください!

☆風しんの予防接種はしていますか?
あなたの母子健康手帳を確認しましょう。



風しんとは?

感染経路

風しんウイルスに感染した人の咳やくしゃみ、会話などで飛び散る飛沫(しぶき)を介して感染します。

症状

【小児】

発熱や発しん、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、多くの人は数日で治ります。まれに、高熱がでたり脳炎を起こしたりして入院することがあります。

【成人】

関節の強い痛み、高熱や発しんが長く続くなど、症状が重くなる場合があります。

妊娠した女性(とくに妊娠20週頃まで)が風しんにかかると、耳が聞こえにくくなる、心臓に奇形が生じる、目が見えにくくなる、精神や身体の発達に遅れが生じるなどの障がい(先天性風しん症候群)を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

※風しんを疑う症状を認めたら医療機関に相談しましょう。

予防のために

風しんの予防接種歴を母子健康手帳などで確認し、2回接種していない方は予防接種を検討して下さい。

※風しんにかかったかどうかやワクチン接種歴が不明の場合は医療機関等で抗体検査を受けることを検討して下さい。

現在、子どもに対しては、定期接種で2回麻しん風しん混合ワクチンを接種する機会(1歳児、小学校入学前1年間)があります。

※ワクチン2回の接種で約99%風しんを予防することができます。

妊娠前の女性は

妊娠前に風しんの予防接種をご検討ください。

妊娠中の女性は

ご家族の方に風しんの予防接種を検討するようご相談ください。

成人男性は

以下をチェック!

- 風しんにかかったことがない方
- 風しんワクチンを受けていない方
- どちらも不明な方

該当する方は、風しんの予防接種をご検討ください。